



回収したモノを寄付に (準備中)

服や文房具など、家庭で不要になったモノを回収して寄付！

不要になったモノは多くの場合廃棄されます。

場合によってはバザーに出品されるか、リサイクルショップへ持ち込まれるか、あるいはインターネットを通じて売却されることもあります。

とくに服や文房具など、家庭で不要になったモノを回収し**児童養護施設などに寄付**するか、あるいは**支援物資を販売する**などして得た収益を「**子どもの貧困**」や「**女性の自立**」「**開発途上国の支援**」などに充てるプロジェクトを準備中です。

同志社大学のサークル「ASVID」さんとの Zoom によるオンライン交流も実施しました。

プロジェクトの目的を明確に伝えて回収することで、よりエシカル(倫理的)なモノの処分方法を啓発し、積極的な意志にもとづいた物品提供を実現することにもつながります。



「回収(寄付)」× SDGs Prism の例

1 貧困をなくそう



あらゆる貧困の減少を

4 質の高い教育をみんなに



あらゆる人に教育を

10 人や国の不平等をなくそう



あらゆる人に政治・経済・社会に参画する力を

11 住み続けられるまちづくりを



廃棄物から新しい価値を生むライフスタイルを

12 つくる責任 つかう責任



つかう責任から「つかったあと」の責任へ

17 パートナリプで目標を達成しよう



さまざまな人の経験を共有し手を取り合って

「回収(寄付)」が貢献する SDGs のゴールとターゲットの例

